



創作同好会制作
70周年記念イベントポスター



日本社会事業大学は今年で70周年を迎えます

創立70周年記念イベントを開催します!

日本社会事業大学は、本年11月創立70周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、同窓会では(1)卒業生・在校生が共に参加し、母校創立70周年を祝う(2)社大の70年を振り返り、社大教育を検証するため、在校生と卒業生による「創立70周年イベント」を開催します。

ご友人、ご家族をお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

学生自治会 自治会長 飯山 由貴
同窓会 会長 大橋 謙策

【企画概要】

■日時

平成28年10月29日(土)12:00~16:30(学祭と同日開催)
17:00から交流会

■会場/日本社会事業大学大講堂及び生協食堂

■イベントスケジュール

- 開場・受付11:00
*昼食は、学祭の模擬店等をご利用ください。
- 第1部 記念コンサート.....12:00
- 第2部 記念式典14:45
創立70周年記念スライドショー上映
- 第3部 社大70年の検証.....15:30
- 第4部 交流会17:00 生協食堂

■記念品/参加者全員に記念品(記念誌、記念ペン、記念クリアファイル)をプレゼント!!

■申込不要・参加費無料/定員500名

お問合せ

日本社会事業大学同窓会
TEL : 042-496-3053
FAX : 042-496-3051
E-mail : kouyu@jcsw.ac.jp

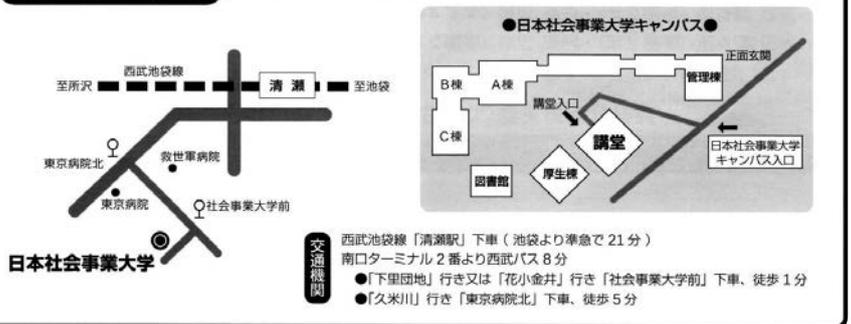
記念イベントの同窓会事業概要です。

名称:五味百合子基金事業・日本社会事業大学創立70周年記念イベント

在学生・卒業生の実行委員による

- 記念植樹 ○社大沿革スライド制作
 - 記念コンサート/現役・卒業生による公募ステージ
 - 記念式典 ○社大70年の検証会
 - 記念誌作成 ○交流会
- などを企画します。

交通機関のご案内



学生出演団体



マンドリンアンサンブル



ブラスバンドサークル



混声合唱団 菩提樹

卒業生記念ステージ



ピアノ 内山良平(研48)



サクソ 高橋義孝(学部25)



ボーカル
大越康子(学部27)



ベース 田野重松(客演)



ドラム 岡本俊文(客演)

公募出演者の皆様

ハワイアンバンド

ワコウ・ブルー・マリーナ
代表 鈴木 利津子

オートハープ演奏

古屋 克己

バンド演奏

レベック
代表 八木 裕子

インド舞踊

丸橋広実モヒニアタム
舞踊団

ピアノ・バイオリン・フルート演奏

M31星団
代表 鳥海 緑

オカリナ・ギター演奏

青木 ひろみ
乙川 利夫

フルート・ピアノ演奏

井ノ上 洋
井ノ上 てい

うたごえサークル
おおぞらOB会

代表 小田中 博志

ギター演奏(フラメンコ)

工藤 進

第2部 14:45 記念式典

校歌斉唱
開会式辞
記念品贈呈

在学生挨拶
学長挨拶

マンドリン、菩提樹
大橋 謙策 同窓会長
学長・自治会長に
同窓会功労者・代表に
飯山 由貴 自治会長
大島 巖 学長

第3部 15:30 社大70年の検証

神田 均 (研7・静岡県ボランティア協会)
佐藤与志夫(学12・同窓会秋田県支部)
木村 昭一(学9・社会福祉法人はるにれの里)
藤野 将陸(専院3・ビーサイドユー株式会社)

第4部 17:00 交流会 会場/生協食堂

※同期会、ゼミ会の場としてもご利用ください。
参加費/無料

創立70周年記念
スライドショー上映

懐かしい恩師の皆様はじめ、
70年各年代の代表的な写真を
スライドショーにしました。





所沢にある防衛医科大学校と合同で主に土日に活動しています。楽器の経験は、未経験の人・ブランクのある人・長年続けている人など様々です。興味が湧いたらTwitterやホームページをご覧ください(^^)



定期演奏会三部の演奏写真です。定期演奏会三部はポップスステージとして皆さんが知っているようなJ-POPなどの有名な曲を演奏します。



ぱばるフェスティバル練習風景です。ぱばるフェスティバルとは、秋津にあるコヤマドライビングスクールで行われるお祭りです。

これからの活動

それぞれの文化祭や年度末の定期演奏会はもちろん、有志による福祉施設などへの訪問演奏のボランティアもしていきたいと考えています。楽しんで演奏するので、楽しんで聞いていただきたいです♪

(サークル代表 松久保紗弥)

混声合唱団 菩提樹

定期演奏会のほか、入学式や卒業式などの発表の場は多数。ボランティア活動も行っています。



これからの活動

今年度も、22回目となる定期演奏会があります。聞いていただける方々に楽しさややすらぎを感じてもらえるよう、仲間と共に楽しく日々の練習に励みたいと思います。



去年度の定期演奏会後の集合写真です。

(サークル代表 竹内弘樹)



学内学会前の練習風景です。

定期演奏会や社大祭のほか、福祉施設などでも演奏。所属当初は、ほとんどの人が初心者です。



Mandolin Ensemble マンドリンアンサンブル



昨年度の定期演奏会で撮った写真です。今年は1年生3人、2年生1人が新しく入部してくれました！学年を超えて穏やか和やかに、和気あいあいと日々の演奏を楽しんでいます。

この写真は今年の新入生歓迎会でのものです。こうした学内の行事や依頼演奏など、積極的に活動しています！



これからの活動

今後は10月の学祭および70周年記念コンサート、そして来年4月の定期演奏会に向けて練習を積み重ねていくことになります。

定期演奏会は一年積み上げてきたものを全力で出し切る大舞台！次回、第52回演奏会は来年の4月8日ですのでぜひ聞きに来てくださいね！

部員も少なく大変な中ではありますが、その中でも合奏を楽しみ依頼演奏なども積極的に取り組みたいと考えています。

(サークル代表 高見澤朋美)

歴史ある大学の学生であることへの感謝の気持ちを込めて

学生自治会 自治会長 飯山 由貴

学生自治会の現在の活動としては、学生大会の実施、厚生棟の借用管理、サークル活動への支援及び指導、社大新聞の発行などが挙げられます。学生大会では、自治会常任委員の承認や学生の要望調査を行っています。毎年様々な要望が寄せられ、それらを踏まえて大学側との意見交換を行っています。社大新聞は昨年から発行を始めました。新設サークルはじめ各サークルの活動紹介や公演情報、自治会からのお知らせ等を掲載しています。

日本社会事業大学は戦後からたくさんの方の福祉従事者を輩出してきました。少子高齢化が問題となっている現代、私たちの先輩方である社大の卒業生の多くは、全国でリーダー的な役割を担っていると思います。そんな先輩方のご功績と、歴史あるこの大学の学生であることへの感謝の気持ちを込めて頑張りたいと思います。

十月二十九日(土)に
私達と清瀬で会いましょう

今回の七〇周年記念イベントは、社大祭と同時開催となります。毎年学生が懸命準備に励み、多くの模擬店やコンサートが行われており、学生同士はもちろんのこと地域の方々との交流を大切にしています。

今回、社大祭に合わせて、尊敬する卒業生の方々と協同で貴重なイベントを開催できることや、卒業生による多彩なステージが開かれることをとても楽しみにしています。皆様もぜひ当日清瀬キャンパスまで足を運び頂ければ幸いです。

70周年記念イベントの
在校生実行委員メンバーです。

4年/日下 公佑(実行副委員長)	1年/遠山 沙羅(外局長)
3年/飯山 由貴(実行委員長)	1年/長倉 奈津美(外局長補佐)
3年/橋本 梓(実行副委員長)	1年/築山 築(内局長)
2年/内本 庸司(会計局長)	1年/本多 砂樹(内局長補佐)



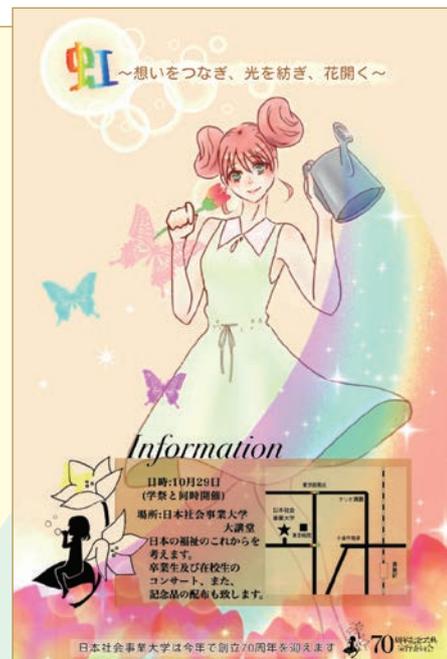
実行委員長 飯山由貴(左から3人目)と副委員長 日下公佑(中央)です。



外局長
1年生 遠山沙羅



内局長
1年生 築山 築



70周年記念イベントポスター/制作 1年 櫻井彩乃



70周年記念イベントポスター/制作 2年 敷並円佳

母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。

JCSW ネットワークを広げよう



PHOTO NEWS



8月23日(日)
長野県支部／地域推進セミナー
(佐久大学)



11月28日(土)
福島県支部
福祉の未来を拓く
支え合い活動実践講演会
(いわき市社会福祉センター)



今回、サークルのロゴを作成しました。



1月23日(土)
山口県支部／地域福祉推進者基礎研修会
(山口県立大学)



2月6日(土)
マンドリンアンサンブル50周年記念祝賀会 (ホテルローズガーデン新宿)



3月26日(土)
同窓会主催／通信教育科修了生の集い
(社大)

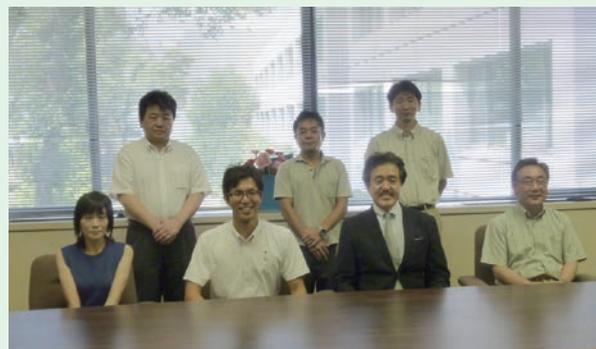


4月29日(金)・30日(土)
2016年度オリエンテーション・フェスティバル
(社大・国立ハンセン病資料館)

8月10日(水)
パラリンピック選手 小山氏来校
リオのパラリンピック水泳バタフライ50メートル代表の小山恭輔選手(学部2010年卒)が来校されました。メダルを持って帰って、報告に来ると宣言!



5月9日(月) 学部第5期同期会 (KKRホテル東京)



小山恭輔(おやまきょうすけ)さん
1987年12月26日東京・東久留米市生まれ。高校から本格的に競技生活をスタート。50mバタフライで北京では銀、ロンドンでは銅メダルを獲得。今年のリオ大会で金メダル獲得を目指す。

「社大福祉フォーラム2016」で同窓会企画実施しました。

① 1・Uターン就職相談会

卒業後1ターン・Uターン就職を考えている学生を対象に北海道、秋田県、福島県、茨城県、東京都、長野県、大阪府支部が参加して「同窓会1・Uターン就職相談コーナー」を設置しました。



② 就活北海道フェア

北海道には約200人の同窓生がいます。北海道の現在の課題は「なかなか社大生が就職しない」ということです。そこで社大生及び関東圏の社会福祉系学生に、「北海道を知ってもらおう」、「できれば、北海道に就職してもらおう」と発案し、このたび第1回開催することとしました。



た。当日(6月25日午後及び26日午前)は同窓会北海道支部長以下数人が社大を訪問し学内学会に溶け込む形で、学生のみなさんと交歓。道内の社会福祉施設等の求人票や北海道の観光パンフ等も用意しました。

③ 同窓生と一緒に考える!

「ソーシャルワーカーへの途」～東京・実践の現場から～ (同窓会東京支部)

準備メンバー、出演者を含めて全部で33名の参加者となりました。4つの実践報告、とくに日野療護園の3名からはインタビュー形式のやりとりを事前に練習までして発表していただきました。その後のワールドカフェも、大山さんの臨機応変なファシリテーションのもと5グループに分かれて2セッションでじっくりと話をすることができました。



栃木県支部総会・講演会

7月31日(日)に総会・母校創立70周年記念講演会を開催しました。

記念講演会では障害者差別解消法をテーマに、日本アビリティーズ協会の伊東弘泰会長、栃木県障害福祉課岡井隆弘課長からご講演いただきました。伊東会長の「福祉関係者も意見を実現するために政治に参加すべき」とのお話から、社会福祉もやはり社会活動の一つであるとの思いを強くしました。



今回の総会では、母校同窓会顧問でもある石橋俊一会長を県支部顧問に、母校評議員でもある岩崎俊雄副会長を県支部会長とする案が了承されました。
菊池浩史

山口県支部

「地域福祉推進関係者基礎研修会」 及び「久しぶり～社大同窓会新年会」

1月23日(土)に社大同窓会山口県支部、山口県社会福祉協議会、山口県立大学社会福祉学部の主催で、「地域福祉推進関係者基礎研修会～地域支援における地域アセスメントとサービス開発～」を開催し、会員以外も含めて47人の参加がありました。

研修講師には、菱沼学部准教授にお越しいただき、前半の講演では、介護保険制度改正における生活支援コーディネーターと協議体の役割について説明された上で、地域アセスメントとサービス開発の意義や留意点について、全国各地の実践事例を交えながらお話していただきました。

後半のグループ演習では、社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員、福祉施設職員等が同じテーブルで話し合い、熱い議論をかわしている様子が伺えました。

また、同日の夜「久しぶり～社大同窓会新年会」をセントコア山口で開催し、学部5期から学部54期までの同窓生が、久しぶりに集まり、原宿世



代、清瀬世代と時代背景、校舎、恩師は違えども、社大同窓生として学生時代の話や近況報告等に花を咲かせ、たまにはではなく定期的にやろうよと大いに盛り上がりました。
村田拓途

沖縄県支部

総会と初めての現役組研修会

2月11日(木)大橋同窓会長をお招きして、初めての同窓会支部現役組の研修会を企画した。各参加者の職場での担当内容とそこにおける課題等について報告し参加者と課題解決の策を考える研修方法で、多職種の研修の機会になりました。今回は13名の参加となりましたが、次回をもっと呼びかけて幅広い研修会にすることを確認しました。

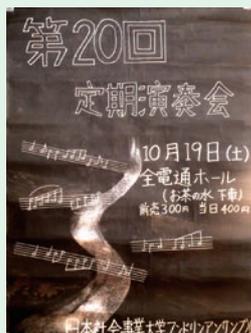
夜は退職された先輩方も参加しての同窓会支部総会を開催した。今回は沖縄の祖国復帰前における沖縄の社会福祉の基盤整備に頑張った先輩方の社大卒業後の活躍を記録する「日本社会事業大学と沖縄の社会福祉 会員個人史その2」の発刊に向けた取り組みについての事業計画を確認することもおこなわれた。参加者の最高年齢は89歳の本科4期生の先輩でした。今回は通信教育科が今回から参加すると共に専門職大学院、研究科、大学院卒などの仕事現役組も参加し、これまでにない温故知新の機会になりました。



上地武昭

マンドリン50周年祝賀会

2月6日(土)、ホテルローズガーデン新宿内のレストランチャオにて、社大マンドリンアンサンブル50周年記念祝賀会を開催致しました。当日は、現役生とOBOGによる合同演奏・トリビアクイズをさみながら、参加者各々思い出話に花を咲かせました。
村田悠治



◆2016年度事業計画

- ①日本社会事業大学が原宿から清瀬に移り28年が過ぎ、同窓生数は約半数が清瀬年代が占めている状況にある。このような実態を踏まえつつ、若い世代の同窓生がより参加しやすい仕組み作りや活動を検討・実施していく。
- ②地方大会開催等による支部活動の活性化と支部会、同期会への母校教員等の派遣によるさらなる支部との連携、就職相談会などによる母校・在学生支援の強化を行う。

◆五味百合子基金事業・創立70周年記念イベント(同窓会事業)の実施

卒業生・在校生が共に参加し、母校創立70周年を祝うとともに、社大の70周年を振り返り、社大教育を検証する。

◆その他の議事

熊本地震に対する対応、在校生からの会費徴収方法、活動等補助費交付手続きの簡略化等についての協議。

2015年度 日本社会事業大学同窓会収支計算書
2016年度 日本社会事業大学同窓会予算

収入の部		(単位：円)	
科 目	2015年度決算額	2016年度予算額	
前年度繰越金	2,271,358	565,041	
会費収入	4,487,200	4,500,000	
入会金収入	801,000	800,000	
利息収入	306	500	
雑収入・会費振替残	185,160	1,000	
70周年記念事業五味基金繰入	0	2,000,000	
合 計	7,745,024	7,866,541	

【収支差引額】

7,745,024 - 7,179,983 = 565,041
(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

- ◆ 2015年度同窓会基金 (元会館建設基金)現在高 17,508,891円
- ◆ 2015年度五味基金 19,968,894円

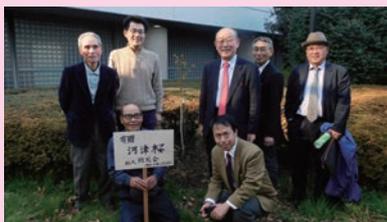
支出の部

科 目	2015年度決算額	2016年度予算額
会議費	220,097	200,000
委員会活動費	36,500	50,000
機関誌等発行費	4,060,320	3,000,000
通信運搬費	47,705	50,000
支部強化費	358,451	600,000
支部出張等費	247,390	250,000
学内学会助成費	100,000	100,000
卒業記念品費	249,090	250,000
国際交流推進費	15,211	50,000
人件費	1,084,100	600,000
事務局活動費	29,463	50,000
事務局業務委託費	86,400	100,000
システム管理費	391,831	150,000
ホームページ関係諸費	150,585	100,000
慶弔費	102,840	50,000
70周年記念事業費	0	2,000,000
70周年記念事務費	0	100,000
予備費	0	166,541
合 計	7,179,983	7,866,541

70周年記念植栽を行いました



3月26日(土)、社会福祉法人信和会理事長栗原信氏(学部30期)からの寄贈による河津桜の植栽をしました。2年前にいただいた桜は、今春ピンク色の花をつけました。



熊本地震で被災された皆様へ(お見舞い)

この度の熊本地震により被害を受けられた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

今般の災害に際し同窓会では、5月25日同窓会長名で熊本にお住まいの同窓生の被災状況を把握させていただきましたが、その結果幸いなことに人的被害はなかったものの家屋被害に遭われた方が多数おられました。

同窓会として十分なことはできませんが、小林熊本県支部長ともご相談しながら対応してまいりたいと思います。

改めて、皆様の日も早いご復興をお祈りしております。

平成28年6月25日・同窓会幹事会の日に
日本社会事業大学同窓会
会長 大橋 謙策

同窓会費納入にご協力を

同窓生各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、同窓会では本年日本社会事業大学が70周年を迎えることから、卒業生・在校生が共に参加し母校70周年を祝うとともに、社大の70周年を振り返り社大教育を検証するため、在校生と卒業生による実行委員会を組織し、来る10月29日(土)「日本社会事業大学創立70周年記念イベント」を開催しますので、同窓生の皆様には、ご友人、ご家族をお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

なお、この数年同窓会の運営に不可欠な会費の納入が、暫減傾向にあります。会のさらなる発展のためにも、ご理解を賜り、会費の納入をいただきたくお願い申し上げます。

10月創立70周年記念イベントで、皆様とぜひ再会できることを楽しみにしております。

役員・事務局一同

読むこと、生きること、情報は命！ すべての人に読書する機会を

市橋 正光
学部37期
(1997年卒)

すべての人が読み書きできる
社会づくりと、
読書権保障への取り組み

現代社会では、多くの高齢者や障害者が、読書や読み書きに困難があるために、日常生活を送る上でさまざまな不利益がある状態に置かれています。今年四月一日に施行された「障害者差別解消法」では、行政機関や民間事業者に対して、社会的な障壁を取り除くために、合理的（過度な負担にならない）な配慮をすることを義務付けています。

NPO法人大活字文化普及協会では、すべての人が自立して生活を送るための情報を得る権利を保障することを目的として、高齢者や障害者等も含むすべての人が読書・読み書きできる社会づくりを推進する活動を展開しています。

▼厚生労働省や内閣府、東京都等での活動展開

・厚生労働省では、大活字図書やDAISY（音訳）図書等の



給付事業を円滑に実施すること

を全国の障害者福祉担当課に周知し、名取市（宮城県）、千代田区・江戸川区（東京都）、津市・北杜町（三重県）、船橋市（千葉県）、江南市（愛知県）、高砂市（兵庫県）等において、大活字図書給付制度が新設されました。※平成二八年七月現在

・内閣府では、マイナンバー制度の案内を点字冊子・音声CDだけでなく、大活字版公報誌を発行し、全国の自治体に配布を行いました。

▼事業展開の拠点・大活字本専門店「Viva神保町」
二〇三年十一月、本の街・神保町にて、日本初の大活字本専門店をオープンしました。本を自由に手にとり読める大活字本専門の本屋があることは読者の信用を得ることにもつながり、

沖縄県の石垣島から北海道まで、高齢者施設や図書館、個人などを対象に、全国的な普及につながっています。

事業展開への思い

▼大活字本の出版展開

これまでに四五〇タイトル程

の大活字本を著者・出版社の許可を得て出版してきました。日本では、年間約七万タイトルの新刊図書が出版されている中で、弱視者から読める大活字本の出版は、当会が年間約二〇タイトルを出版しているだけにとどまっています。弱視者・高齢者等の読書困難がある方からは、大活字本にならざるがたいタイトルから本を選ぶのではなく、日本で出版された全ての本の中から好きな本を自由に選んで読書したいという強い願いが寄せられています。弱視者だった亡くなった父の残した言葉で「電車の中で寝転がって本を読みたい」という言葉があります。読書や読み書きに困難のある人にとって、普通に楽に自由に読書できることがどんなに心から願っていることなのかを念頭に置き、読書や読み書きの困難が解消される日が来ると信じて日々の活動を展開しています。

学生時代の思い出

知的障害者施設でのボランティア活動、障害児の自宅に行つての家庭教師活動等を行いましたが、高校の時から続けていたラグビー部での活動では、同じ目標に突き進む先輩や後輩との交流が心に残っています。菅平



高原での夏合宿や全国地区対抗大学大会関東二区三部リーグで優勝をしたことが大学時代の思い出となっています。ラグビー部のハードな練習で培った基礎体力は今も日々の活動の原動力となつています。読書権を保障する行政施策を推進していく中で、日本社会事業大学の卒業生のネットワークを広げていくことも、今後の活動にとって大変重要だと考えています。

今後の抱負

今から二年前に大活字本の専門出版社を創業し、半年後に事故で亡くなった弱視者であった亡き父との生活を振り返ると、当時から社会的障壁と言える「読書や読み書きが困難な状況」があったために、生活上、就業上、趣味の分野まで、社会生活の全てにおいて、適切な情報を得るために、大変な苦

労をしていた父の姿が思い起こされます。

現在、父の遺志をついで大活字本の普及活動を展開している中で、「読むこと・生きること」という亡き父が遺した言葉をつねに意識しています。現代の高度情報化社会において「読むこと」ができて、情報を得ることができれば、「自立して生きていくこと」ができるという意味です。読書や読み書きの困難がすべて解消されるには、将来的に読書権保障法等の法律の制定も必要だと考えています。

すべての人が必要な情報を得ることができるということが、誰もが平等に生きる共生社会の実現には必要不可欠で最低限の条件です。読書や読み書きが困難な状況にあるという社会的な障壁が除去されることが、一人一人が自立した社会生活を送れる真に豊かな日本社会になると信じて、日本社会事業大学の関係者やすべての人の協力とご指導をいただきながら、読書権保障の実現に向けて活動を展開していきます。

プロフィール

- 市橋 正光(いちは まさみつ)
- 1973年5月11日生まれ
 - 1997年3月 日本社会事業大学 社会事業学科(当時)卒
 - 1998年5月 弱視者の父の後をついで、(株)大活字社長に就任
 - 2010年5月 NPO法人 大活字文化普及協会を設立、理事・事務局長に就任